信州大学人文学部 令和７年度（2026年３月）卒業生の教育目標達成に関する調査結果 報告書

（最終報告書　令和８年10月30日）

―― 目次 ――

１．調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

２．卒業生アンケート分析結果・・・・・・・・・・・・・　4
（１）所属コース・グループ・・・・・・・・・・・・・・・・　5
（２）教育目標の達成状況・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
（３）人文学部の教育内容等に関する評価・・・・・・・・・　9
（４）在籍中に経験した国際交流・留学/取得した資格　・・　12
（５）リモート授業・ICT環境の評価　・・・・・・・・・・・　13

３．卒業生アンケート総括・・・・・・・・・・・・・・・・　16

参考　自由記述回答一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・　19

1.調査概要

本報告書について

信州大学人文学部における教育活動を振り返り、次年度以降の教育活動の改善を行う際の参考資料とするため、令和7年度(2026年3月)卒業の人文学部生を対象にアンケートを実施した。
本報告書はこれらアンケートの結果について示すものである。

卒業生アンケートについて

調査方法: 令和7年度の信州大学人文学部卒業生を対象に、卒業論文口頭試問または卒業論文発表会にて、各分野ごとに回答を依頼した。分野としての実施が困難な場合は個別に回答依頼をした。
調査期間: 令和8年3月21日～3月31日
回収数 : 128件 回収率:91.4%(128人/140人)
調査項目:
・所属コース
・人文学部の教育目標に対する達成状況の評価
・人文学部の教育内容等に関する評価
・人文学部に在籍中に経験した国際交流・留学、取得した資格
・人文学部に在籍したことによる進路選択への影響
・卒業論文執筆についての感想
・人文学部の教育方針・体制・学習環境についての感想
・進級・学び・研究室での指導等についての感想
・リモート授業の評価と今後の実施回数
・人文学部のICT環境の評価

分析に関する注意事項について

①過去の調査との比較について
経年での変化を見るため、必要な項目について本年度を含めた5年間(一部3年間)の調査結果についても記載した。
・過去年度回収数【令和3年度:31件 令和4年度:108件 令和5年度:123件 令和6年度:102件】

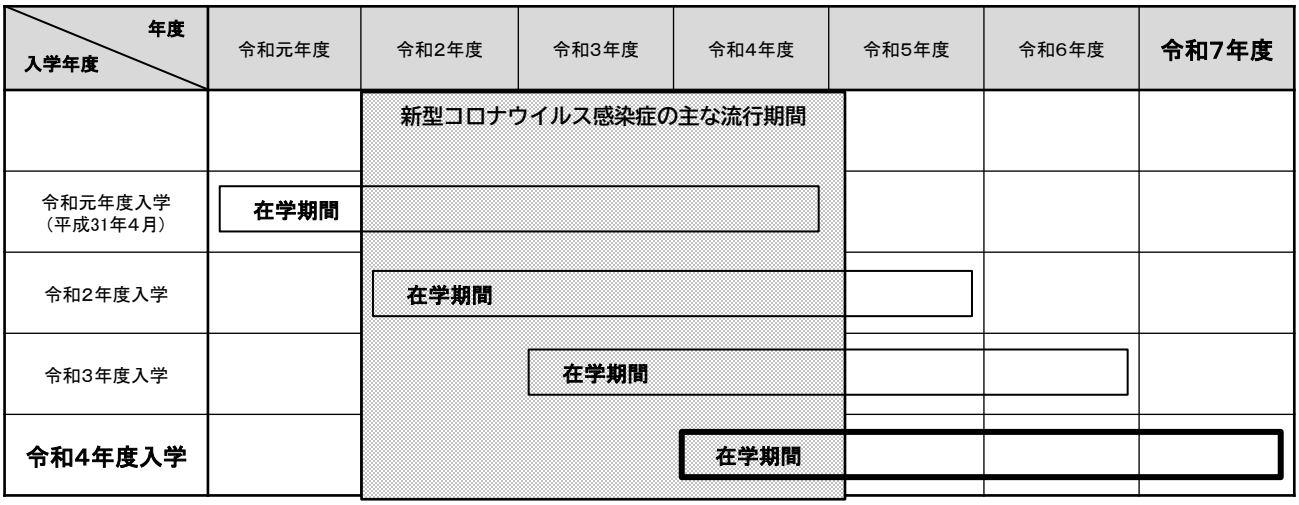
②所属分野別の分析について
所属分野による回答結果の差を見るため、所属コースを以下の3つの所属グループに分類し、教育目標の達成状況および人文学部での教育内容等に関する評価についてそれぞれ分析を行った。

所属グループ	所属コース
哲学芸術系	哲学･芸術論コース
社会心理学系	文化情報論・社会学コース 心理学・社会心理学コース
語学歴史系	歴史学コース 比較言語文化コース 英米言語文化コース 日本言語文化コース

③その他

・回答結果の割合「%」は、有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入している。そのため、単数回答であっても合計が100%にならない場合がある。
・図表内の「n」は Number of case の略で、該当する設問の回答者数を表す。無回答を除いて集計しているため、設問ごとに回答者数が異なる。
・1人の回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答の設問では、回答数の合計を回答者数（n）で割った比率を示しており、比率の合計は100%を超える。
・令和7年度の卒業生は主に令和4年度入学と想定される。令和2年4月の新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言から令和5年5月の同感染症の5類感染症への移行までの期間のうち、令和7年度の卒業生（主に令和4年度入学生）の在学期間と重複するのは、1年次の約1年間に相当しており、高校生の頃からコロナ禍を経験していると推察される（下図参照）。

≪新型コロナウイルス感染症の流行期間(5類感染症への移行まで)と、在学期間≫



Design the next stream SCOP

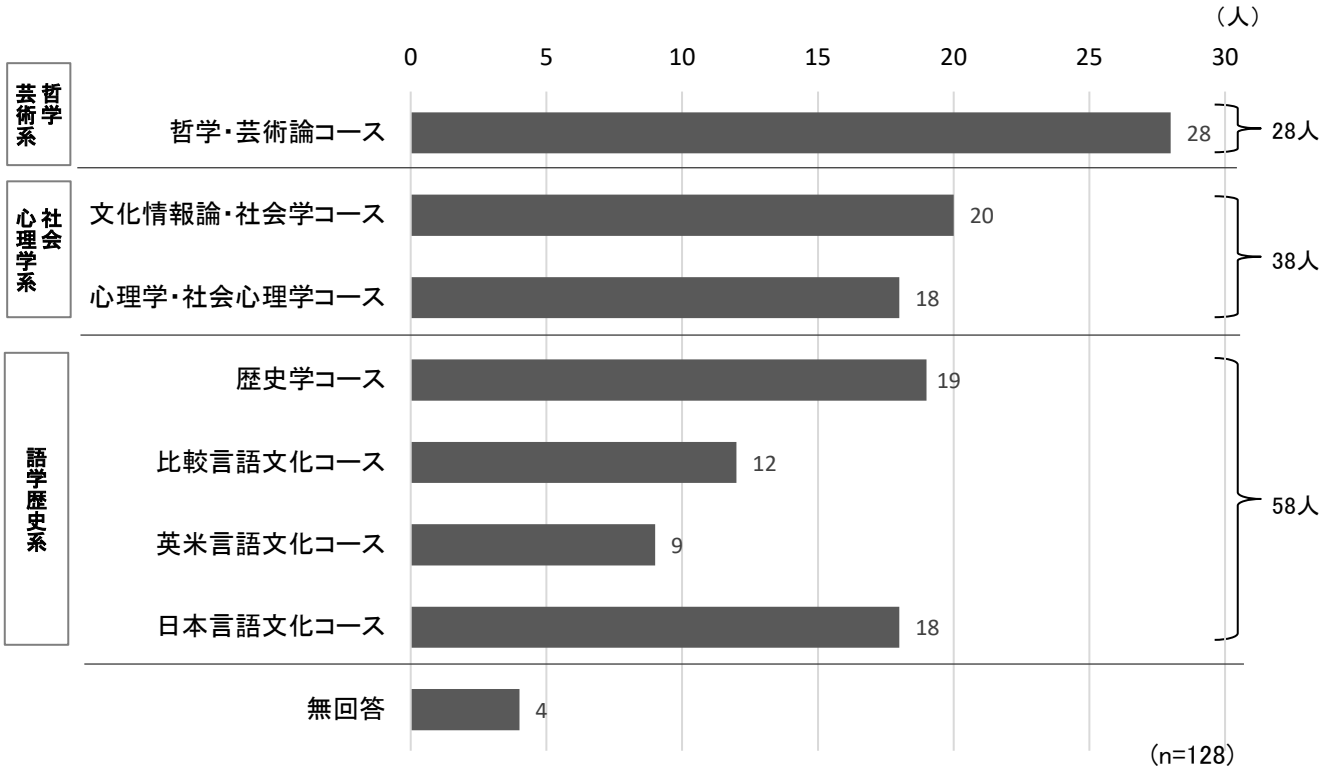
２．卒業生アンケート分析結果

（1）所属コース

所属コース・グループ

質問番号１：あなたの所属コースをお答えください。　《単数回答》

- 回答者の所属グループは、「哲学芸術系」が28人、「社会心理学系」が38人、「語学歴史系」は58人となっている。

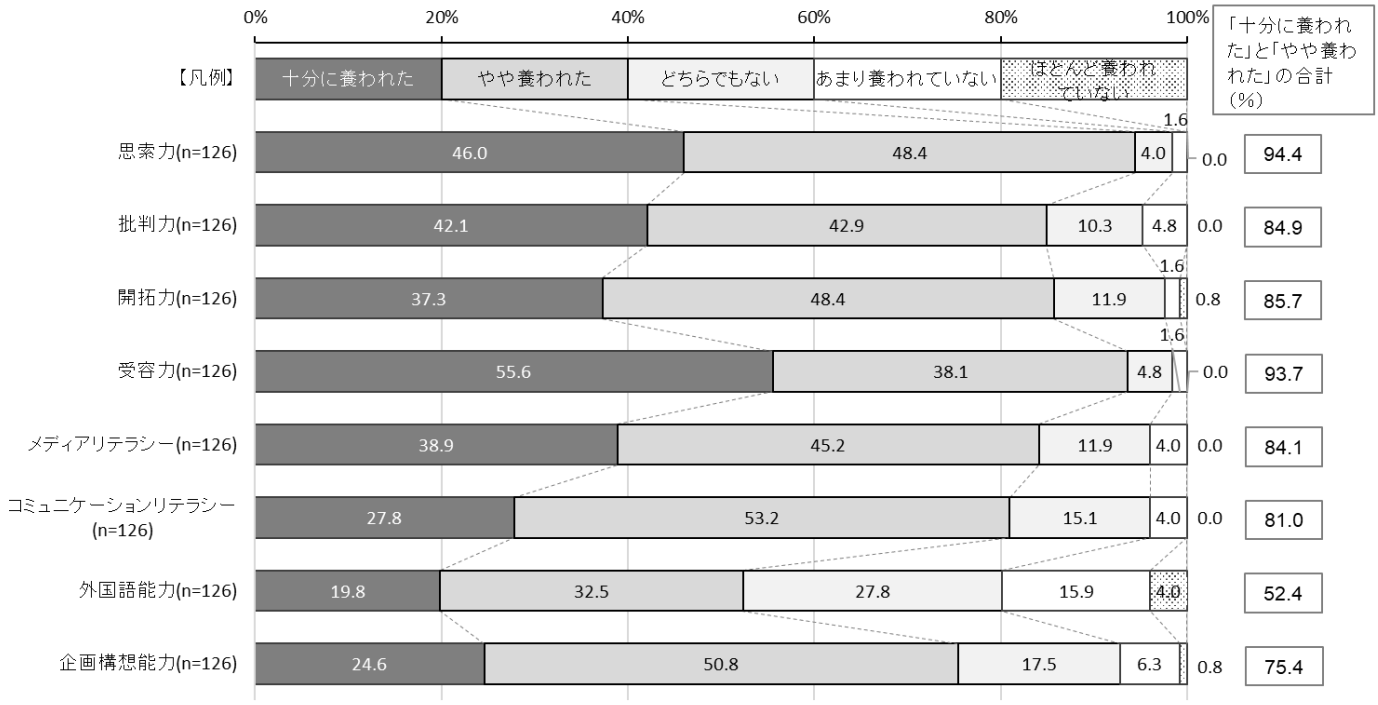


（２）教育目標の達成状況

教育目標の達成状況

質問番号２：人文学部の教育目標について、人文学部に在籍することで、あなたは、どのくらい養われたと思いますか。
《単数回答》

- 人文学部の教育目標について、「十分に養われた」「やや養われた」を合わせた割合は、「思索力」において94.4%と最も高く、次いで「受容力」が93.7%となっている。一方、「外国語能力」においては、52.4%と最も低くなっている。

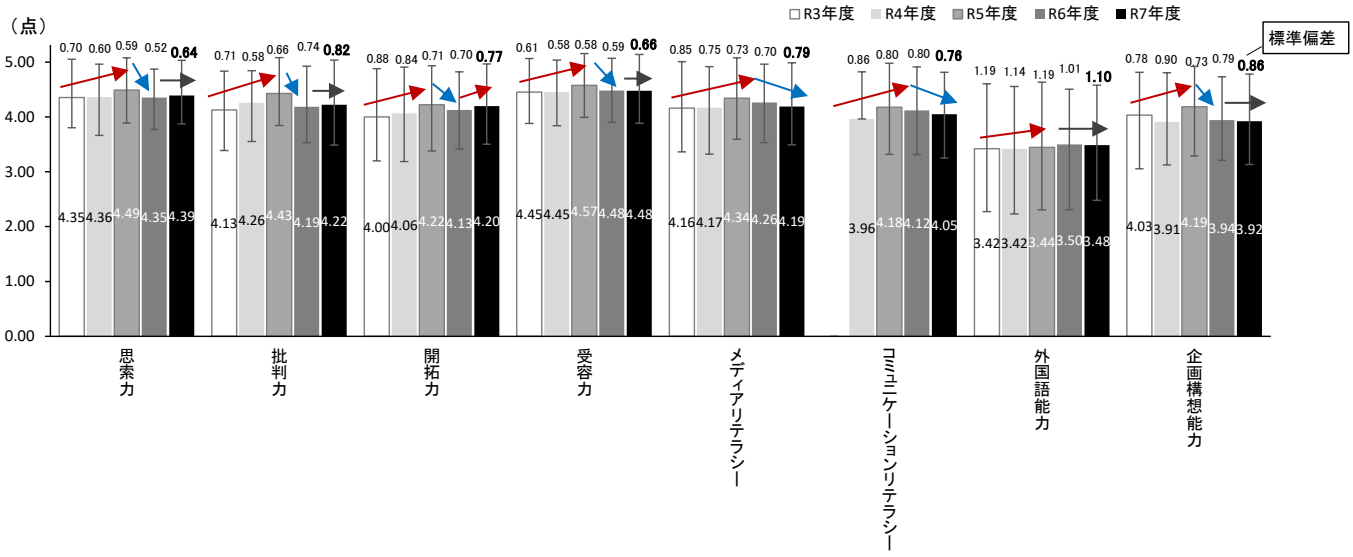


アンケート上の表現との対応
・思索力：自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力
・批判力：変容する社会を冷静に分析し、時流に迎合することなく価値判断できる批判力
・開拓力：過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力
・受容力：異質・多様なものを理解し、寛容かつ多元的に判断することができる受容力
・メディアリテラシー：情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシー
・コミュニケーションリテラシー：自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー
・外国語能力：グローバル社会において、多様な文化を理解し自らの文化を発信できる外国語能力
・企画構想能力：領域横断的な事柄に対する問題解決能力、および創造的な企画構想能力

教育目標の達成状況　《得点化》《経年比較》

質問番号２：人文学部の教育目標について、人文学部に在籍することで、あなたは、どのくらい養われたと思いますか。
《単数回答》

- 8項目ともに概ね上昇傾向であった令和5年度までと比較すると、令和6年度から令和7年度にかけて、ほとんどの項目において低下もしくは横ばいになっている。
- 標準偏差については、例年と同様に、「外国語能力」が比較的大きく、「思索力」「受容力」が比較的小さくなっている。



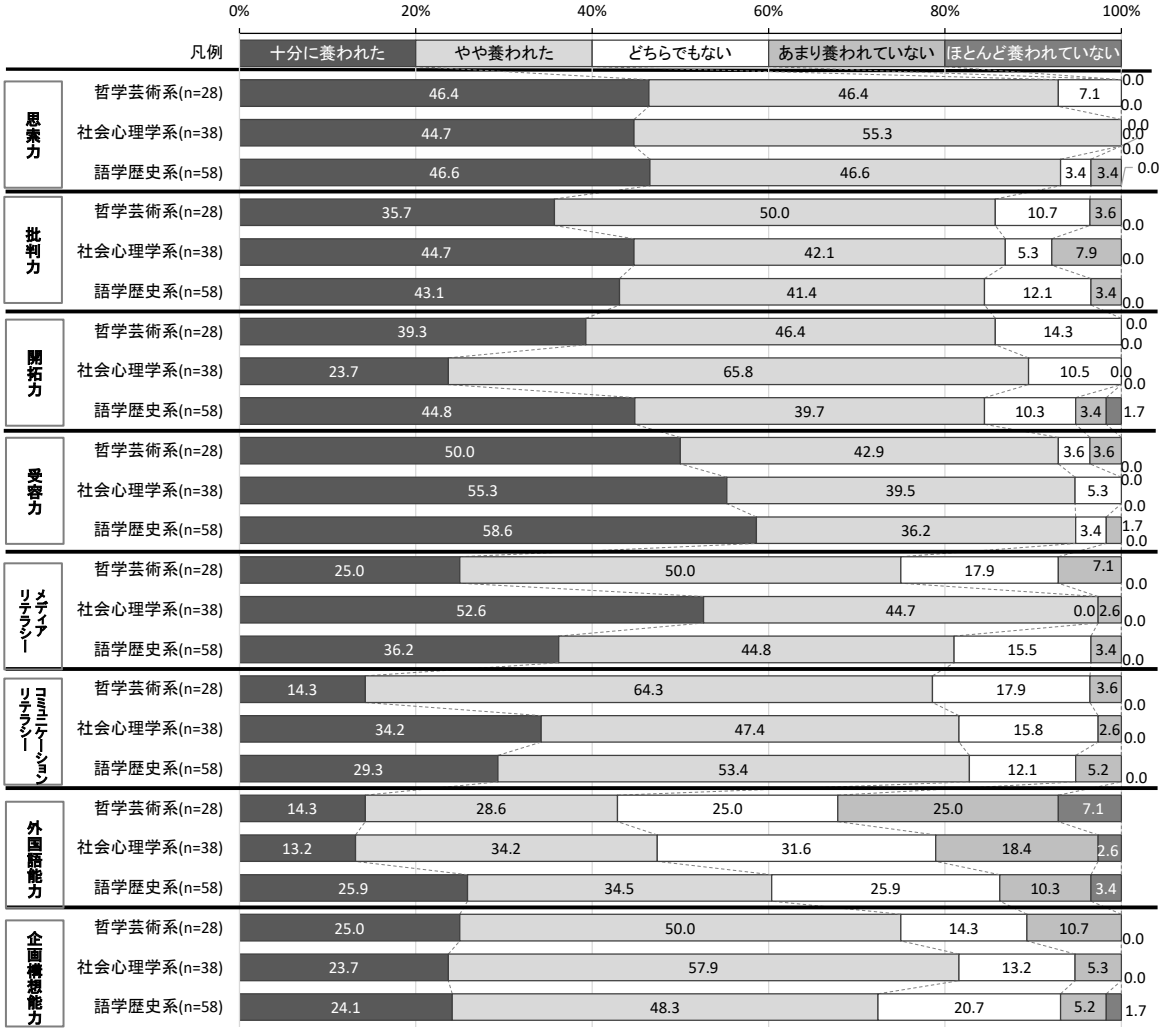
※「十分に養われた」を５点、「やや養われた」を４点、「どちらでもない」を３点、「あまり養われていない」を２点、「ほとんど養われていない」を１点として得点化した。

※Ｒ３年度は「コミュニケーションリテラシー」について聞いていないため、得点を示していない。

所属分野ごとの教育目標の達成状況　《クロス集計》

質問番号１：あなたの所属コースをお答えください。　《単数回答》
質問番号２：人文学部の教育目標について、人文学部に在籍することで、あなたは、どのくらい養われたと思いますか。
《単数回答》

- 人文学部の教育目標について、「十分に養われた」「やや養われた」の合計の割合が比較的高い「受容力」「思索力」については、所属グループ間での偏りがあまりみられない。
- 哲学芸術系において、「十分に養われた」と回答した割合をグループ同士で比較すると、「メディアリテラシー」「コミュニケーションリテラシー」が低くなっている。「コミュニケーションリテラシー」については、「やや養われた」の回答も合わせると他グループとの大きな差異は見られない。
- 社会心理学系において、「十分に養われた」と回答した割合をグループ同士で比較すると、特に「メディアリテラシー」の割合が高い。一方、「開拓力」の割合が3グループの中では低くなっているが、「やや養われた」の回答も合わせると他グループとの大きな差異はみられない。また「思索力」「メディアリテラシー」の2項目は、「十分に養われた」「やや養われた」の回答を合わせた割合は、ほぼ100%である。
- 語学歴史系において、「外国語能力」「受容力」における「十分に養われた」と回答した割合が、他のグループと比較すると高い。

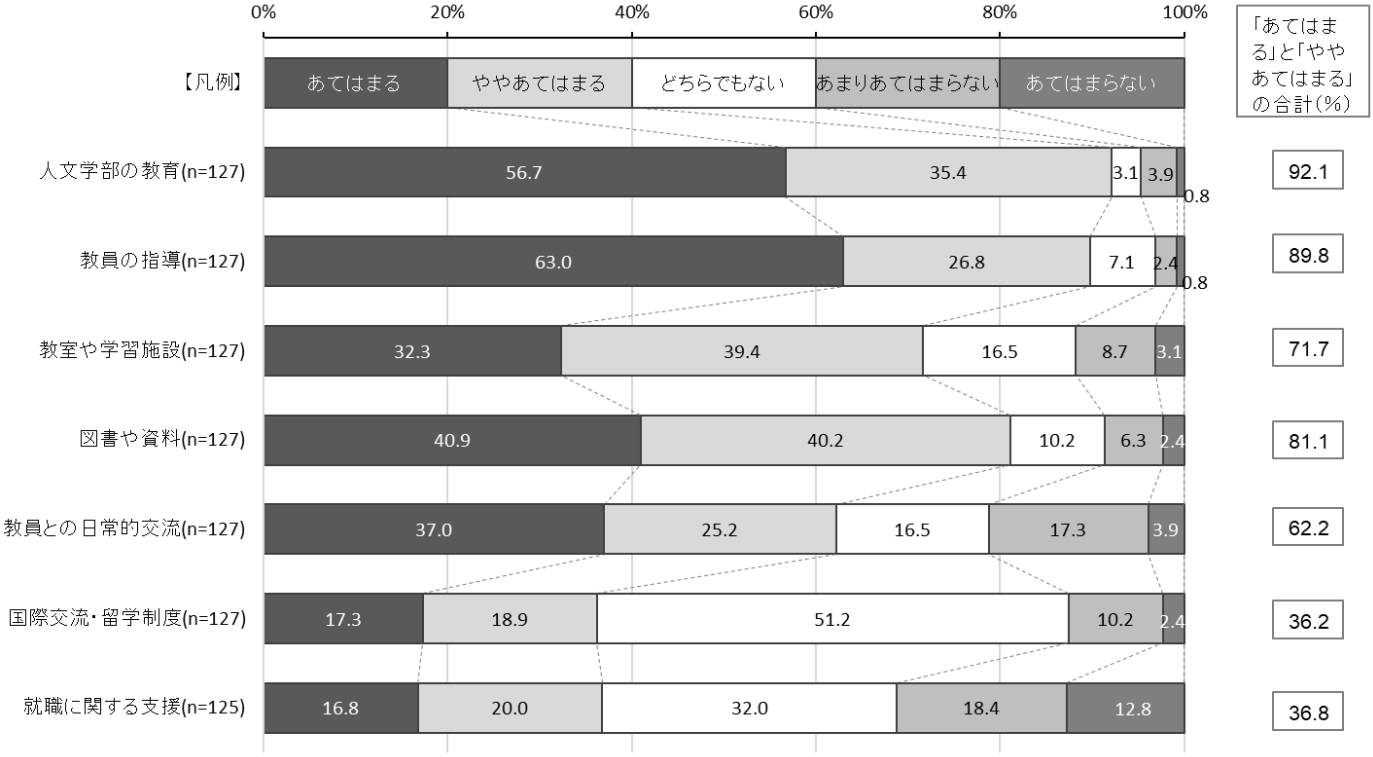


（３）人文学部の教育内容等に関する評価

人文学部の教育内容等に関する評価

質問番号３：人文学部の評価に関する以下の項目は、あなた自身にとって、どのくらいあてはまりますか。　《単数回答》

- 人文学部の教育内容等に関する評価に関して、「あてはまる」「ややあてはまる」の割合をみると、「人文学部の教育」が92.1%と最も高く、次いで「教員の指導」が89.8%となっている。一方、「就職に関する支援」は36.8%、「国際交流・留学制度」が36.2%と他の項目と比較して低い。

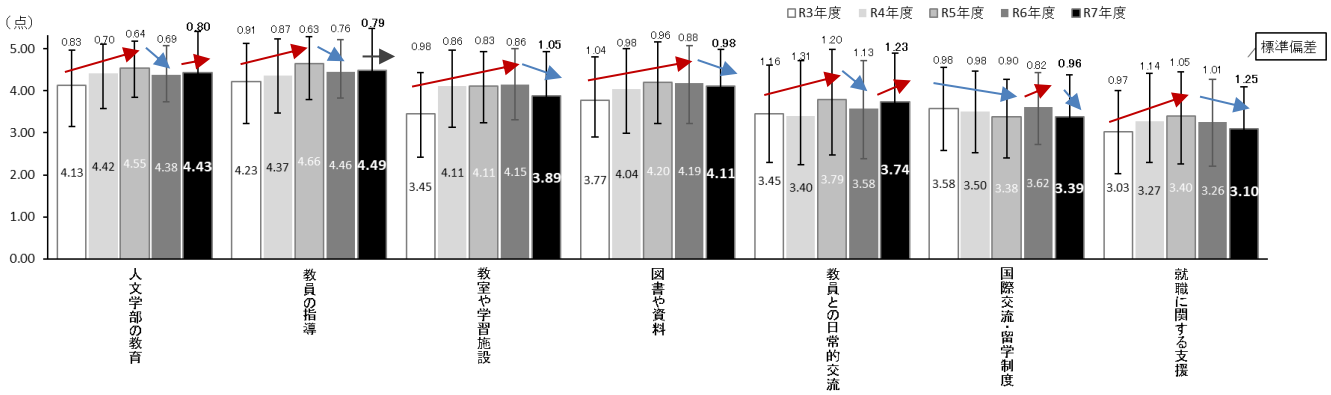


アンケート上の表現との対応
・人文学部の教育：人文学部の教育に満足できた
・教員の指導：教員の指導は十分であった
・教室や学習施設：教室や学習施設に満足できた
・図書や資料：図書や資料に満足できた
・教員との日常的交流：教員との日常的交流があった
・国際交流・留学制度：国際交流・留学制度は充実していた
・就職に関する支援：就職に関する支援に満足できた

人文学部の教育内容等に関する評価　《得点化》《経年比較》

質問番号３：人文学部の評価に関する以下の項目は、あなた自身にとって、どのくらいあてはまりますか。　《単数回答》

- 「あてはまる」を5点満点とする得点に関しては、令和5年度まで「国際交流・留学制度」を除く全ての項目において上昇していたが、令和6年度、令和7年度といずれも下降もしくは横ばいとなっている。「就職に関する支援」については、令和3年度に近い水準まで下降した。
- 標準偏差については、例年と同様に、「教員との日常的交流」「就職に関する支援」が大きく、「人文学部の教育」「教員の指導」が小さくなっている。



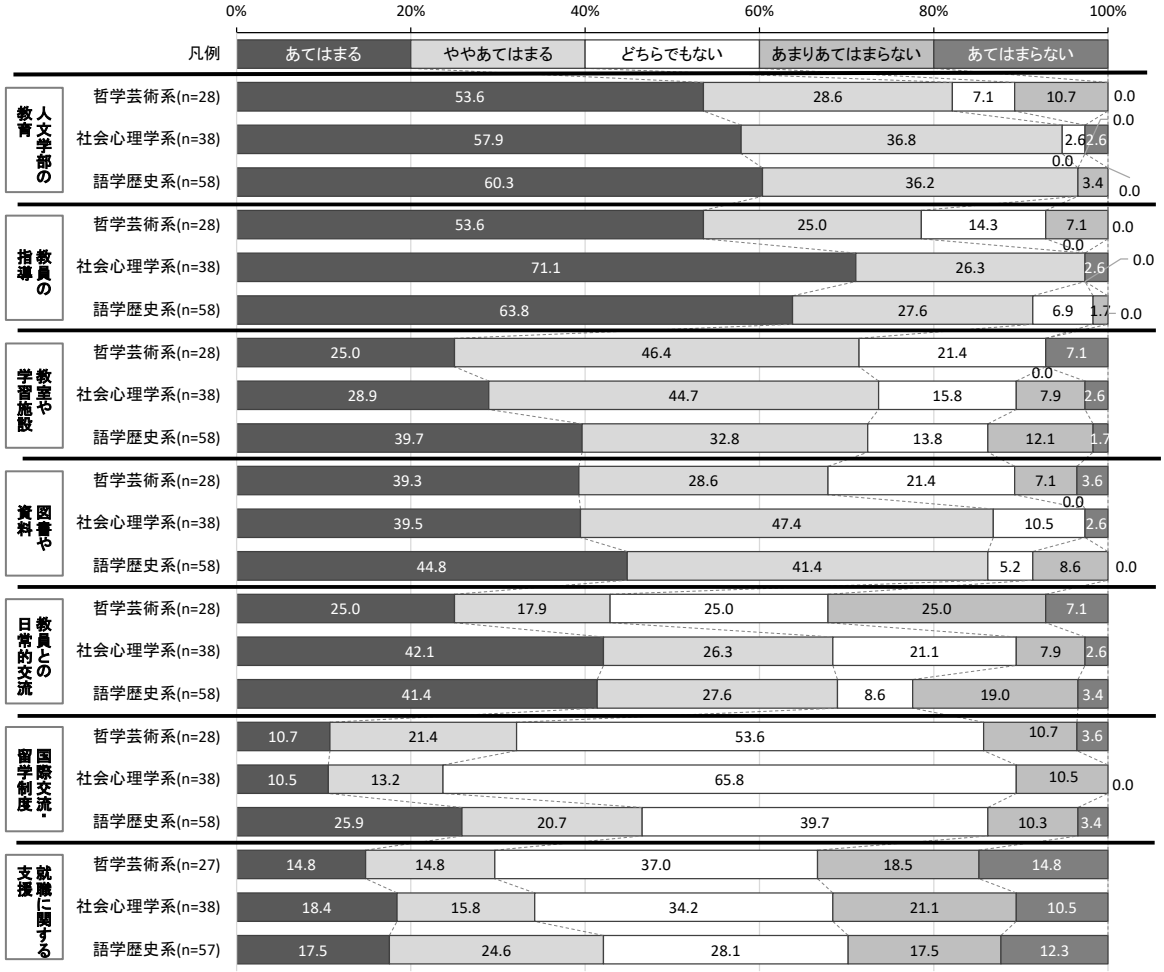
※「あてはまる」を５点、「ややあてはまる」を４点、「どちらでもない」を３点、「あまりあてはまらない」を２点、「あてはまらない」を１点として得点化した。

アンケート上の表現との対応（再掲）
- 人文学部の教育：人文学部の教育に満足できた
- 教員の指導：教員の指導は十分であった
- 教室や学習施設：教室や学習施設に満足できた
- 図書や資料：図書や資料に満足できた
- 教員との日常的交流：教員との日常的交流があった
- 国際交流・留学制度：国際交流・留学制度は充実していた
- 就職に関する支援：就職に関する支援に満足できた

所属分野ごとの教育内容等に関する評価　《クロス集計》

質問番号１：あなたの所属コースをお答えください。　《単数回答》
質問番号３：人文学部の評価に関する以下の項目は、あなた自身にとって、どのくらいあてはまりますか。　《単数回答》

- 「人文学部の教育」について「あてはまる」「ややあてはまる」の合計は、所属グループ間における偏りはあまりみられないが、哲学芸術系においてやや低くなっている。
- 「教員の指導」について「あてはまる」は、社会心理学系が71.1ポイントと高く、最も低い哲学芸術系より17.5ポイント高い。
- 「教室や学習施設」について「あてはまる」は語学歴史系においてやや高くなっているが、「ややあてはまる」を合計すると、所属グループ間における偏りはあまりみられない。
- 「図書や資料」について「あてはまる」「ややあてはまる」の合計は、社会心理学系・語学歴史系が86～76ポイントであり、哲学芸術系より約19ポイント高い。
- 「教員との日常的交流」について「あてはまる」は、社会心理学系・語学歴史系が41～42ポイントであり、哲学芸術系より約17ポイント高い。
- 「国際交流・留学制度」について「あてはまる」「ややあてはまる」の合計は、語学歴史系が46.6ポイントと最も高く、最も低い社会心理学系より22.9ポイント高い。
- 「就職に関する支援」について、「あてはまる」「ややあてはまる」の合計は、語学歴史系が42.1ポイントと最も高く、最も低い社会心理学系より12.5ポイント高い。



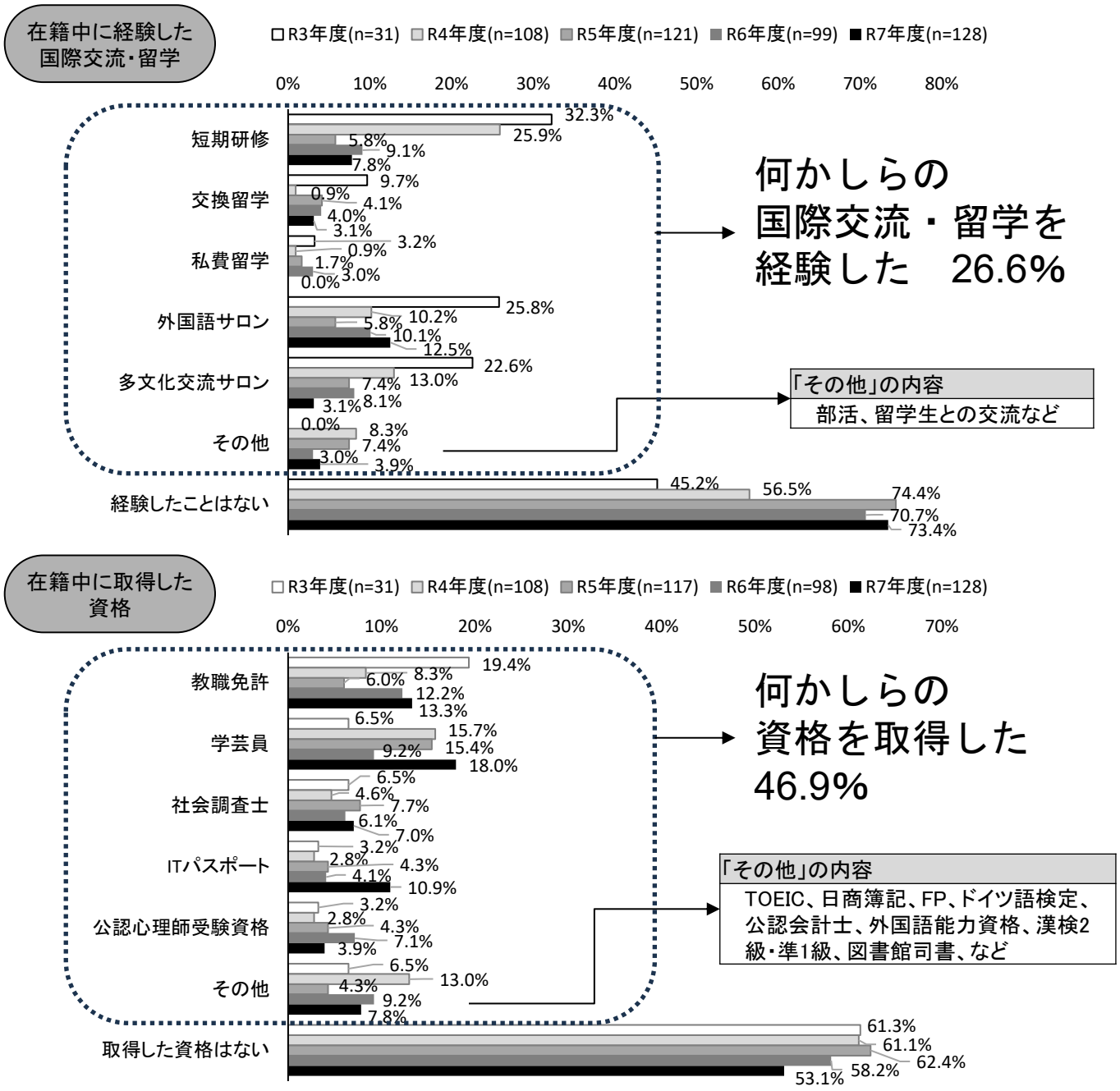
アンケート上の表現との対応（再掲）
・「人文学部の教育」：人文学部の教育に満足できた・「教員の指導」：教員の指導は十分であった・「教育や学習施設」：教育や学習施設に満足できた・「図書や資料」：図書や資料に満足できた・「教員との日常的交流」：教員との日常的交流があった・「国際交流・留学制度」：国際交流・留学制度は充実していた・「就職に関する支援」：就職に関する支援に満足できた

（４）在籍中に経験した国際交流・留学/取得した資格

在籍中に経験した国際交流・留学/取得した資格《経年比較》

質問番号4：人文学部に在籍中、あなたが経験した国際交流・留学はありましたか。　《複数回答》
質問番号5：人文学部に在籍中、あなたが取得した資格はありましたか。　《複数回答》

- 何かしらの国際交流・留学を経験した割合は26.6%であり、令和5年度以降概ね横ばいである。「外国語サロン」を直近5年間で最も低い令和5年度と比較すると、6.7ポイントの増加がみられ、経験したもののなかでは最も高くなっている。「多文化交流サロン」は直近5年間で継続的な低下がみられる。それ以外の項目において令和3年度をピークに令和4年度～令和5年度にかけて低下傾向にあり、以降は横ばいとなっている。
- 何かしらの資格を取得した割合は46.9%であり、令和5年度以降増加傾向にある。種類としては、「学芸員」が最も高くなっている。経年でみると、「公認心理師受験資格」を除いた4つの項目がすべて増加傾向にある。

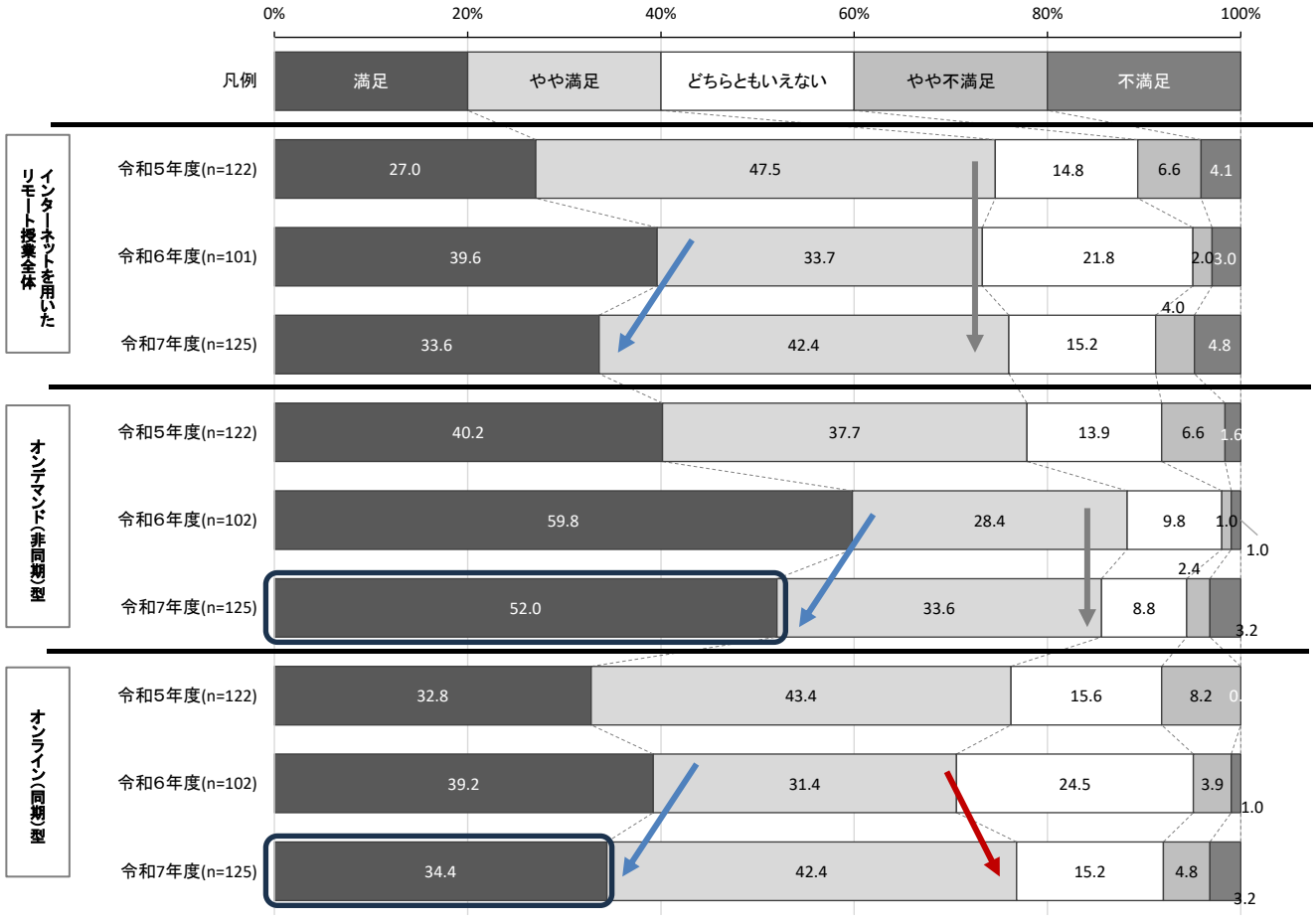


（５）リモート授業・ICT環境の評価

リモート授業の評価

質問番号10：在学中に受講した人文学部のインターネットを用いたリモート授業について，全体として，あなたはどのくらい満足していますか。　《単数回答》
質問番号11：在学中に受講した人文学部のリモート授業のうち，オンデマンド（非同期）型について，あなたはどのくらい満足していますか。　《単数回答》
質問番号12：在学中に受講した人文学部のリモート授業のうち，オンライン（同期）型について，あなたはどのくらい満足していますか。　《単数回答》

- 在学中に受講したリモート授業の評価としては、リモート授業全体、オンデマンド（非同期）型、オンライン（同期）型のいずれも、「満足」の回答は令和6年度と比較すると低下している。
- リモート授業全体に対する、「満足」「やや満足」の合計は76.0ポイントと、直近2年間と横ばいである。
- オンデマンド（非同期）型に対する「満足」「やや満足」の合計は、令和6年度と比較してほぼ横ばいである。
- オンライン（同期）型に対する「満足」「やや満足」の合計は、令和6年度と比較して、上昇している。
- 「満足」の回答は、オンデマンド（非同期）型がオンライン（同期）型に比べて17.6ポイント高い。

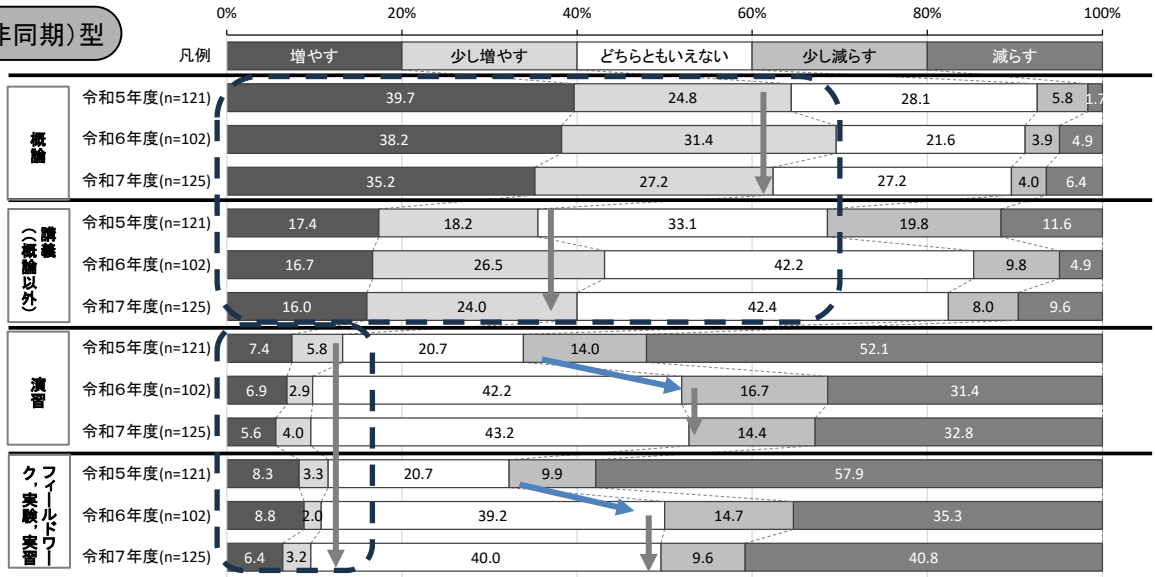


今後のリモート授業の回数

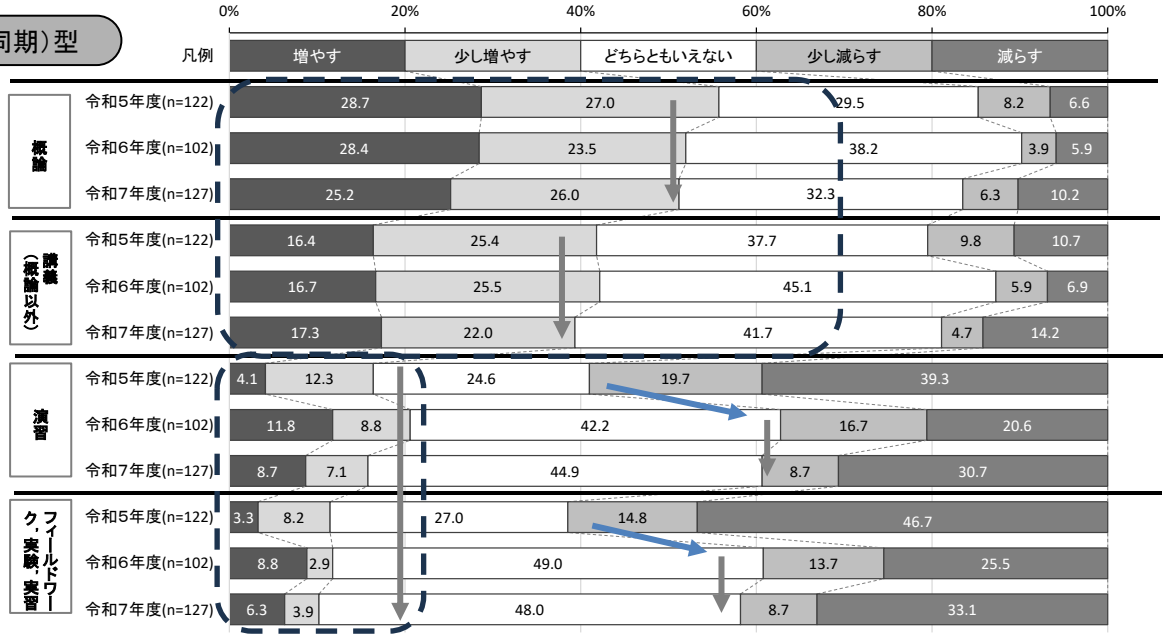
質問番号13：人文学部の以下の科目に対して，あなたは，オンデマンド（非同期）型を，今後，増やした方がよいと思いますか。それとも，減らした方がよいと思いますか。　《単数回答》
質問番号14：人文学部の以下の科目に対して，あなたは，オンライン（同期）型を，今後，増やした方がよいと思いますか。それとも，減らした方がよいと思いますか。　《単数回答》

- 今後、遠隔での授業形態を「増やす」「少し増やす」の合計は、オンデマンド（非同期）型・オンライン（同期）型ともに「概論」が最も高く、「演習」「フィールドワーク，実験，実習」は10ポイント前後と低くなっている。
- 「概論」「講義（概論以外）」で遠隔での授業形態を「増やす」「少し増やす」との合計を直近3年間で比較すると、オンデマンド（非同期）型、オンライン（同期）型ともに横ばいである。
- 「演習」「フィールドワーク，実験，実習」で遠隔での授業形態を「少し減らす」「減らす」の割合は、オンデマンド（非同期）型では約5割、オンライン（同期）型では約4割である。
- 「演習」「フィールドワーク，実験，実習」で遠隔での授業形態を「少し減らす」「減らす」の合計を直近3年間で比較すると、オンデマンド（非同期）型、オンライン（同期）型ともに、令和5年度から令和6年度にかけて下降し、令和7年度は横ばいである。

オンデマンド（非同期）型



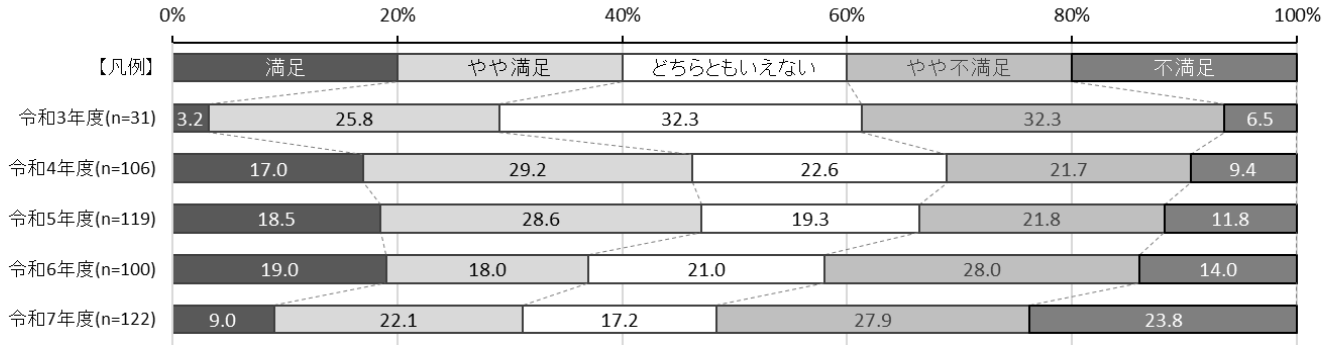
オンライン（同期）型



人文学部のICT環境への満足度

質問番号16：人文学部のICT環境（Wi-Fiなどのインターネット環境を含む）について，あなたはどのくらい満足していますか。　《単一回答》

- 人文学部のICT環境についての満足度は、「満足」「やや満足」の合計は31.1ポイントである。直近5年間で最も高い令和5年度と比較すると16.0ポイント減少している。同時に「不満足」「やや不満足」の合計は直近5年間で最も高い。



３．卒業生アンケート総括

調査結果の要約

①教育目標の達成状況について

- 「思索力」「受容力」において、その力が「十分に養われた」「やや養われた」とする割合は、9割以上と高い。その一方で、「外国語能力」においての割合は、5割であり、最も低い。
- 教育目標8項目を点数化して経年比較すると、8項目すべてが令和5年度で頭打ちとなり、「メディアリテラシー」「コミュニケーションリテラシー」は下降を続けている。

②人文学部の教育内容等に関する評価について

- 「人文学部の教育」に満足できた割合は9割以上と高い。その一方で、「国際交流・留学制度」「就職に関する支援」に満足できた割合は4割以下と低く、得点も令和6年度から大きく下降している。
- 経年比較では、7項目の評価指標のうち、「国際交流・留学制度」を除く全ての項目において令和3年度から上昇傾向にあったが、令和5～6年度に多くの項目で下降に転じた。令和7年度は「教室や学習施設」（－0.26点）、「国際交流・留学制度」（－0.23点）、「就職に関する支援」（－0.16点）の下降が大きくなっている。

③在籍中に経験したことと取得した資格について

- 国際交流・留学を経験した割合は26.6%であり、令和5年度以降横ばいである。資格を取得した割合は46.9%であり、令和5年度以降上昇傾向にある。
- 経験した国際交流・留学は、「外国語サロン」の上昇がみられ、全項目の中で最も高くなっている。
- 取得した資格は、「ITパスポート」（10.9%）「学芸員」（18.0%）が直近5年間で最高の取得率となった。一方、「公認心理師受験資格」は7.1%から3.9%に低下している。

④リモート授業・ICT 環境の評価について

- 在学中に受講したリモート授業の評価としては、リモート授業全体、オンデマンド（非同期）型、オンライン（同期）型のいずれも、「満足」とした割合は、令和6年度と比較すると低下している。
- 今後、遠隔での授業形態を「増やす」「少し増やす」とした割合は、オンデマンド（非同期）型・オンライン（同期）型ともに「概論」が最も高く（オンデマンド型62.4%、オンライン型51.2%）、「演習」「フィールドワーク，実験，実習」が1割前後（オンライン型の「演習」のみ15.8%）と低い。オンデマンド型の「概論」は令和6年度（69.6%）から7.2ポイント低下した。
- ICT環境についての満足度（「満足」「やや満足」とした割合）は、令和5年度以降下降基調である。同時に「不満足」「やや不満足」の合計は直近5年間で初めて過半数となった。「教室や学習施設」の評価の下降とあわせ、学習環境面の評価の低下が目立つ。

調査結果の考察

■ 総論：「人」への評価は回復、「環境」への評価は低下

令和7年度の卒業生（主に令和4年度入学）は、コロナ禍と在学期間が重なるのが1年次の約1年間にとどまり（P.3）、学生生活の大半を対面中心で過ごした世代である。教育目標の自己評価は、令和5年度に頂点を迎えたのち令和6年度に低下し、令和7年度はほぼ同水準で推移した（P.7）。
令和5年度報告書では右肩上がりの自己評価をそのまま受け取ることに慎重になるべきという考察を行ったが、2年続けて同程度に落ち着いたことは、コロナ禍を経た「上振れ」が収まり、ポストコロナ期の基準となる水準が見え始めたとも解釈できる。
今年度は、教員や教育内容など「人」に関わる評価が維持・改善した一方、施設やICTなど「環境」に関わる評価が明確に低下するという、対照的な傾向がみられた。

以下に、要旨を述べる。

① 学習環境への評価の低下・・・教育の質を支える基盤をどう整えるか？

- 「教員との日常的交流」は0.16点上昇し、「人文学部の教育」「教員の指導」も高い水準を保った（P.10）。
  対面中心の学生生活を送った世代で、教員との関係が回復したことが考えられる。
  一方で「教育や学習施設」は0.26点低下して4点を下回り、ICT環境に「不満足」「やや不満足」とする割合は51.7%と初めて過半数に達した（P.15）。
  ICT環境の満足度は令和6年度以降2年続けて低下しており、令和5・6年度の報告書でもWi-Fiの接続の不安定さが繰り返し指摘されてきた。教育の中身への評価が高いだけに、環境面の課題を解消していくことが求められる。学部の教育基盤の課題として優先的に検討する必要があると言える。

② 学外へ向かう意欲の停滞と自助的な準備・・・学生の「次の一歩」をどう支えるか？

- 令和6年度報告書では、国際交流等の経験が令和5年度を底に増加へ転じたことから、課外活動意欲の「再燃」を指摘した。しかし令和7年度は、経験した割合が26.6%と横ばいにとどまり、「多文化交流サロン」（3.1%）と「私費留学」（0.0%）は直近5年間で最も低くなった（P.12）。
  「国際交流・留学制度」の評価も0.23点低下しており、再燃は定着しなかったといえる。他方で「外国語サロン」の参加は増え、「外国語能力」の自己評価は令和6年度に続き直近5年間で高い水準（3.48点）にある。海外に出る経験よりも、学内で身近に得られる機会を選ぶ傾向が強まっている可能性がある。
- また、資格を取得した割合は46.9%と直近5年間で最も高く、特に「ITパスポート」が大きく伸びた一方、「就職に関する支援」の評価は低下した。学生が就職を見据えて自ら準備を進める一方で、学部の支援がその動きに十分応えられていないと受け止められている可能性がある。学外経験を妨げる要因（費用・時間・価値観など）の把握とあわせ、学内で完結する国際交流機会の拡充や、資格取得・キャリア形成と学部の学びを結びつける支援のあり方を検討することが求められる。

※ リモート授業では、オンデマンド型の「満足」が低下し、「概論」のオンデマンド化を望む割合も前年度から7.2ポイント低下し、令和6年度の（P.13～14）。リモート経験が1年次に限られる世代では、令和6年度に指摘した効率重視の志向がやや落ち着きつつある可能性があり、今後も推移を注視したい。

参考　自由記述回答一覧

人文学部に在籍したことによる、進路選択への影響

質問番号6：人文学部で受けた教育や獲得した能力は，あなたの進路選択に，どのように関係・影響したと思いますか。
《自由記述》

【能力指標に関する記述】
思考力（6件）
立ち止まって考えることができた。
自分にとってあたり前のことが、他人にとってはあたり前でないこともあるということを考えるきっかけを得られたことは、自分の進路などを考えるうえで、またこれからも良い影響を与えると思う。
物事を深く考える力・思考力が身についた（2件）
思考力、言語力によって就職活動を進められた
物事に向き合い、その問題点を論理的に分析し、解明する力を得たことで、地域を構成する企業の問題点を改善する職業に就こうと考えるようになった。
批判力（6件）
学びをそのまま生かすのではなく、批判的にデータを読み解く能力や柔軟な視野という、1つの分野にとらわれないことを学び、様々な職種に対して興味を持つようにした。
批判的に物事を見るということと、それをふまえて、それが述べられた状況を考えるということが、相手の立場について深く考えることにつながり、人とふれあう進路につながったと思う。
クリティカルシンキングによって、情報を精査するようになり、就職集めに役立った。
批判的に物事を捉える力は進路選択のさいの情報の取捨選択に役立った。
直接自分の研究を仕事にすることはなかったが，研究するうえでみにつけた判断力・調査力を活かせる仕事，進路を選択することができた。
社会を問い直す，新しい視点で捉える力を養った。その力で社会を良くしたいと考え，就職に活かした。
開拓力（2件）
世の中は分からないことだらけだからとりあえずやってみようの精神をもてた
人文学部では幅広い学びを得たことで未知の領域にも踏み込むことができました。
受容力（2件）
知らない世界での寛容さ。
批判的に物事を見るということと、それをふまえて、それが述べられた状況を考えるということが、相手の立場について深く考えることにつながり、人とふれあう進路につながったと思う。（再掲）
メディアリテラシー（8件）
情報表現が役に立った
学びをそのまま生かすのではなく、批判的にデータを読み解く能力や柔軟な視野という、1つの分野にとらわれないことを学び、様々な職種に対して興味を持つようにした。（再掲）
自分の考えをまとめて、主張するための根拠を作ったり、それに妥当性を持たせたりする過程が、社会人にとって必要な力なんだと就活を通じて感じた。
情報を精査し、何が自分に必要かを考える分析力が身につき、就活に役立てたと思う。
クリティカルシンキングによって、情報を精査するようになり、就職集めに役立った。（再掲）
批判的に物事を捉える力は進路選択のさいの情報の取捨選択に役立った。（再掲）
直接自分の研究を仕事にすることはなかったが，研究するうえでみにつけた判断力・調査力を活かせる仕事，進路を選択することができた。（再掲）
特に情報を集約・分析する力が身についた。昨今の社会状況から今後伸びていくであろう分野や社会に必要とされる領域に身をおきたいと思い，インターネットの情報や就職活動を通して得た知識から分析し，進路選択に役立てた。
コミュニケーションリテラシー（7件）
自分の考えをまとめて、主張するための根拠を作ったり、それに妥当性を持たせたりする過程が、社会人にとって必要な力なんだと就活を通じて感じた。（再掲）
思考力、言語力によって就職活動を進められた（再掲）
課外での音楽活動で学んだことがほとんどであるが，アウトプットのための方法や、先生方との会話における情報は役立つものが多かった。
応用的な心理学の知識は営業職に役立つと考えた。
中国語力はサービス業を選択するうえで役立った。
コミュニケーション力，プレゼンテーション能力，まとめ上げる力など→マネジメントや人と関わる仕事につくことに影響
チームでの作業など案をまとめる力がつき，個人ではなくみんなで何かを作ることが好きになった。
外国語能力・文化（3件）
海外への事業に携わる企業に対し、前向きになれた。
中国語力はサービス業を選択するうえで役立った。（再掲）
さまざまな年代，国籍の人と関わる機会のある職を選ぼうと思った。
問題解決能力・企画構想能力（2件）
イメージが選好度に与える影響についての社会心理学の勉強が、産業のイメージを変えることによって産業を復興させたという考えにつながり、今の進路につながったと考えました。
物事に向き合い、その問題点を論理的に分析し、解明する力を得たことで、地域を構成する企業の問題点を改善する職業に就こうと考えるようになった。（再掲）

カッコ内の数値は自由記述の回答件数を示している。（回答82件。（再掲）は重複掲載の2回目以降）

人文学部に在籍したことによる、進路選択への影響

質問番号6：人文学部で受けた教育や獲得した能力は，あなたの進路選択に，どのように関係・影響したと思いますか。
《自由記述》

【能力指標以外の記述】
専門知識・資格(16件)
イメージが選好度に与える影響についての社会心理学の勉強が、産業のイメージを変えることによって産業を復興させたという考えにつながり、今の進路につながったと考えました。（再掲）
出版社に就職しようと思ったことは、日本文学専攻がきっかけあると言え、進路選択に十分影響を与えたと考える。
学んだことを活かせるような進路にした
学芸員実習で、現場の様子を体験したことにより、将来のキャリアを考えるきっかけとなった。
教員としての基礎学力が養われ、今後につながる学びができた。
在学中に大きく路線変換することはなかったものの、得た知識を活かすことができるといいと思う。
教職免許→教員になりました。
学芸員になりました♡
過去の人たちが積み上げてきた知識を学び、生かしていくことを人生を通して実践していきたいと考え、進路を選ぶことができたと思う。
専門的な知識を活かしたいと思うようになった。
哲学、あるいは自由単位で履修した歴史学等は進学という選択に影響を与えるに十分な素養となったように思う。
子育て支援教育についての興味を促された
卒論のテーマが就職を決めるきっかけとなりました。
まさに心理学領域においての学習はIMRADの考え方を実践的に学習する良い機会であり，今後の人生における武器になったと考えております。
応用的な心理学の知識は営業職に役立つと考えた。（再掲）
幼少期から憧れていた職業に就くことができた。
広い視野(9件)
IT業界を考えるきっかけになった
R言語にふれたことでIT関係に進むきっかけになった
視野や幅が広がった（2件）
社会に大小問わず影響する会社が数多あることに気付けた。
幅広い分野への興味が出た。
多様な分野の知識を学ぶことで、多角的な物の見方ができるようになった。
人文学部での学習がいろんな分野への興味，関心に影響を与えたと思う。
幅広く学びを得ることができたので，進路選択の際にも広い視野で考えることができた。
選択肢の拡大(4件)
選択肢が増えた・広がった（4件）（うち1件再掲）
自己理解・キャリア観(8件)
逆に食っていける進路をとろうと思った。
地域に貢献できる仕事
信念に基づいた進路選択をする考えを持てた。
元々考えていた進路をとり詳細・具体的に目指すようになった。
自分の特性を考えてやりがいを感じられる職業をしぼることができた。
選択肢を自分が本当に興味関心が向くものに絞る助けとなった。
自分の能力を理解し，何に適しているかを把握できたこと。
職種というより自分がどのように働いていきたいか，その上でどんな基準で職業選びをしたら良いかを考えるうえで，方向性が明確になった。
研究・学問への関心・進学意欲(6件)
研究者を目指すきっかけになった。
研究の楽しさ→大学院
人文学部でたくさんの講義の中で大学史を学び、信州大学の歴史を今後も見たいと考え、大学で就職しようと考えました。
学習を続ける職業を選ぶことにつながった。
日本文学研究の奥深さを知り，もっと深い学びを得ようと思えた。
多くの資料を読み解き，知識を蓄えたいと思えるようになった。
漠然とした影響・間接的な影響(7件)
大学で得たさまざまな経験は直接的ではないにしろ、進路選択に関わっていると思う。
進路に直結する重要な影響があった・大きく影響した（2件）
たくさんのことを学び、就職に向けて社会人としての意識を高められた。
進路のあり方
進路を決定する上で役立った。
直結はしなかったが十分に影響していた
関係・影響しなかった(6件)
影響を感じなかった・特に影響していない・あまり関係しなかった（5件）
あまりない。課外活動の方が有意義だった。
その他(2件)
わからない（進路未定を含む）（2件）

カッコ内の数値は自由記述の回答件数を示している。（回答82件。（再掲）は重複掲載の2回目以降）

（５）人文学部の卒業論文・教育方針と体制についての感想

卒業論文執筆についての感想

質問番号7：今年度の卒業論文執筆についての感想を，自由にお書きください（良かった点，改善が必要な点など）
《自由記述》

●良かった点

教員の指導（25件）
担当教員と定期的に相談しながらできたので、計画的に執筆できたことが良かった。
教員がめんどうみがいいです！
困ったりしたときに、先生方や同研究室の学生にきいたり、話したりすることで、執筆することができた。
教授とのコミュニケーションを十分にとることができた。
きつい、但し、丁寧に指導いただいたことは感謝している。
教授のサポートをうけ、書き切ることがことができたため良かった。
指導を受けながらある程度の内容になった
細かな指導があって良かった
先生が丁寧に指導した下さったため、順調に進めることができた。
教授との距離が近く、書きやすかった。
教授の指導がとても助かった。
教授が丁寧に付き添い、研究したい内容で執筆することができ、良かった。
指導教員の先生と相談をしながら進めることができた。学んだ理論をもっと活用すべきだった。
先生に何度も相談でき、史料室では仲間に相談できる環境があり、非常に楽しく卒論を書くことができました。
指導教官が丁寧に、温かく指導してくださってとてもありがたかった。
良くも悪くもかなり自由に取り組ませてもらうことができたという印象です。
指導教員の指導が十分だった。
教授の先生と二人三脚という感じで良かった。
指導のおかげで形にはなったが辛いものだった。
先生の指導は非常に丁寧でありがたかった。4月に題目を決めさせるのは早すぎると思う。
自由に行うことができてよかった。フィードバックもいただけた。
手厚い指導をいただくことができ、本当に心から感謝しています。
教員からの指導が行き届き，論文を執筆するうえで十分なサポートが受けられてとても良かった。
着手が遅くなってはしまったが，先生の指導のおかげで良いものが書けた。
最初は何から始めればいいかわからなかったですが，担当の教授が親身に寄り添ってくれて助かりました。
満足な点（達成感・やりがい）（11件）
書き終れてよかった。
学生生活で「これをした」と言えるものができてよかった。
難しく、大変だったが乗り切った達成感があった。
大変だったが相応のやりがいがあった（3件）
苦しいこともあったが、できはともかくやり抜けた
大変だったが、達成感が得られた・やってよかった（2件）
自分のやりたい研究をやることができ、満足な結果は得られなかったが、やりがいがあった。
自分のやりたいことが完全にできたわけではないが、有意義な研究を行えた。
満足な点（楽しさ・充実）（7件）
とても充実していた。
研究テーマについて深く探求できて楽しかった。
シンプルに書き出しが遅かったが、書いていて楽しかった。
楽しかった。もう一度やりたい。
最初は大変だったが、頑張るうちに楽しいと思えた。
たのしかったです
自分の知りたいことをしれて，とても充実していた。
コミュニケーション・交流（4件）
友人と協力し合うことができたので書き終えられたと思う。
困ったりしたときに、先生方や同研究室の学生にきいたり、話したりすることで、執筆することができた。（再掲）
コースによって進め方がちがうので他のコースの人と比べてしまい勝手に苦しんでいた。研究室の友だちをたくさんつくると相談できていいなと思った。
先生に何度も相談でき、史料室では仲間に相談できる環境があり、非常に楽しく卒論を書くことができました。（再掲）
計画的な論文執筆（3件）
担当教員と定期的に相談しながらできたので、計画的に執筆できたことが良かった。（再掲）
最後まで楽しく取組め，かつ計画性や思考力が身についた。
自分のペースで計画的に進められたため，フィードバックをもらった後の修正までして提出できたので良かった。教授の指導があまりなかったため，増やしてもらいたい。
論文を通じた学び・気付き（3件）
自ら進めることで立体性を培えた
論文として正しく主張を伝える文章力が必要だと感じた。
最後まで楽しく取組め，かつ計画性や思考力が身についた。（再掲）
題目決定時期・マイルストーン（1件）
定期的な発表でまとめるのに助けられた

カッコ内の数値は自由記述の回答件数を示している。（回答84件。（再掲）は重複掲載の2回目以降）

卒業論文執筆についての感想

質問番号7：今年度の卒業論文執筆についての感想を，自由にお書きください（良かった点，改善が必要な点など）
《自由記述》

●改善が必要な点

計画的な論文執筆（12件）
時間が足りなくて、提出ぎりぎりになってしまったのは改善すべき点だった。
計画的な執筆進行に改善が必要であった。
色々なことに手を出しすぎて、後半が大変になった。
資料集めをじっくりやればよかった。
スケジュールの細分化、またコースごとのスケジュールの相異、評価の相異に関しては可能な範囲で改善できると考える。
作業の開始が遅かった点が課題。作品に向き合うことができた点は良かった。
長期計画力の不足によって課題の残る論となった。
シンプルに書き出しが遅かったが、書いていて楽しかった。（再掲）
スケジュールがうまく立たず，難しかった。
計画通りやればよかった。
もっと早い時期に執筆をはじめるべきだったとすこし後悔が残る。
着手が遅くなってはしまったが，先生の指導のおかげで良いものが書けた。（再掲）
教員の指導（9件）
フィードバックに力を入れて欲しい
もっと先生に質問すべきだった
教員の指導がもう少しほしかった
指導教員に多くの負担、ご迷惑をおかけしてしまった。
面談時にもっと詳しい話し合いができればよかった。
先生ともっとコミュニケーションを取っておけばよかった。
自分から先生に連絡をしないと，あまり進まない感じがあった。それぞれの進み具合に差ができやすいと思う。
自分のペースで計画的に進められたため，フィードバックをもらった後の修正までして提出できたので良かった。教授の指導があまりなかったため，増やしてもらいたい。（再掲）
字数や体裁等の重要な連絡事項が教員から通達されなかった点に不安を覚えた。卒論締切当日に指導教員が学校に来ていなかった点も不安だった。
コース・研究室による違い（6件）
コースによって要求されるレベルが異なる
コースによって進め方がちがうので他のコースの人と比べてしまい勝手に苦しんでいた。研究室の友だちをたくさんつくると相談できていいなと思った。（再掲）
コースによって負担度が大きく異なると感じた。
スケジュールの細分化、またコースごとのスケジュールの相異、評価の相異に関しては可能な範囲で改善できると考える。（再掲）
研究室ごとの指導方針をもう少し統一してほしい。
仕方ないところかと思うが，所属研究室によりどのくらい執筆を助けてくれるかがかなり違い，足並みをそろえてほしかった。
題目決定時期・マイルストーン（4件）
題目を4月時点で確定させる意味はあるのか
題目のキゲンが早い。
スケジュールの細分化、またコースごとのスケジュールの相異、評価の相異に関しては可能な範囲で改善できると考える。（再掲）
先生の指導は非常に丁寧でありがたかった。4月に題目を決めさせるのは早すぎると思う。（再掲）
図書や資料（3件）
歴史学は、テーマによって資料の数が異なるので、少ない時は大変だった。
資料集めをじっくりやればよかった。（再掲）
資料たりない。
大変さ・負担感（3件）
就職活動との兼ね合いもあり大変だった。
正直大変でした。しかし、自分のやりたかったことができて良かったです。論文の書き方、まとめ方についてもう少し早く知りたかったです。
思った以上に根気と大変さが伴うものだった。
論文の書き方・研究方法（3件）
正直大変でした。しかし、自分のやりたかったことができて良かったです。論文の書き方、まとめ方についてもう少し早く知りたかったです。（再掲）
史料の使い方・根拠を明確に示すのが難しかった。
指導教員の先生と相談をしながら進めることができた。学んだ理論をもっと活用すべきだった。（再掲）
締切り日（2件）
時間が足りなくて、提出ぎりぎりになってしまったのは改善すべき点だった。（再掲）
期限を伸ばしてほしい。人文棟は常に開けておいてほしい。
コミュニケーション・交流（1件）
先輩との交流が授業内でもっとあれば卒論も書きやすいと感じた、
その他（3件）
教室によってネット環境が大変だったけど楽しかった。
期限を伸ばしてほしい。人文棟は常に開けておいてほしい。（再掲）
もっと実践的な研究をしたい。

カッコ内の数値は自由記述の回答件数を示している。（回答84件。（再掲）は重複掲載の2回目以降）

人文学部の教育方針・体制についての感想

質問番号8：人文学部の教育方針・教育体制・学習環境についての感想を，自由にお書きください（良かった点，改善が必要な点など）。《自由記述》

●良かった点

幅広い分野・他コースの学び（13件）
自分の所属コース以外の分野についても学ぶことで、意外なところに興味を見出せたりできてよかった。
様々な分野・学問を学べてよかった（4件）
1年次に様々なコースの授業をうけれることに魅力を感じた。
色々な概論が受けられて良かった。
様々な授業があり楽しかった
様々なコースの授業を受けられて良かった（3件）
大変満足。コースを横断しての学習は面白かった。
一年次に色々な概論を履修してから配属の分野を決めれるのは学んで決められるのですごいよかったと思う。
自由で主体的な学び・雰囲気（10件）
「実践知」概念の下、自身の思ったことを否定されない方法には挑戦する勇気をもらった。
のびのび自由な雰囲気・学びだった（2件）
学びたいことを自由に学べた。
自身が学びたいことを学べたのが良かった。
卒論や演習など、自分の意欲に従って、先生の助けを借りながら、とことん学ぶことができる環境が楽しかったです。
研究に対する姿勢を形成することのできる環境だったと感じた。
主体的に学ぶ力が育つ体制だったと思います。
自由なところが良かったし，難しくもあった。
能動的に動いた場面が多く，まさに実践知を習得できた。
全体的な満足・現状評価（8件）
今のままで問題ない・十分だと思う（4件）
この時代においてすばらしいものであると思う・
とても良かった・とても充実していた（2件）
大変満足。コースを横断しての学習は面白かった。（再掲）
教員に関すること（4件）
質問をすれば先生方がほとんど必ず答えて下さるので、その点においてストレスがなかった。
よかった（先生に対する学生の数が多くないのがいい）
先生方はすばらしいが、大学や学部、国との折り合いに苦労していた。
指導教員に，研究について親身に相談に乗ってもらえた。
コース選択・題目の制度（3件）
コースを選択できるカリキュラムが良かった
コースが分かれるのが2年次からという制度はとてもありがたいです。
一年次に色々な概論を履修してから配属の分野を決めれるのは学んで決められるのですごいよかったと思う。（再掲）
施設の利用・スペース（3件）
人文ホールがあることが、時間が空いているときの学習時間を有効に使う場所になっていたことが大きかった。
施設がすごしやすかった
資料室の学習環境が整っていた。
ネット環境（Wi-Fi）（1件）
ネット環境が整っており，リモート授業を受けたり調べものをしたりするのに十分だった。西洋史は教授からの指導機会が少なかったため，増やしてもらいたい。
その他（1件）
コンパクトにまとまっていて受講しやすかった。

カッコ内の数値は自由記述の回答件数を示している。（回答66件。（再掲）は重複掲載の2回目以降）

人文学部の教育方針・体制についての感想

質問番号8：人文学部の教育方針・教育体制・学習環境についての感想を，自由にお書きください（良かった点，改善が必要な点など）。《自由記述》

●改善が必要な点

ネット環境(Wi-Fi)(7件)
Wifiよわい。エアコン掃除して。ハウスダストアレルギーできつかった。
Wi-Fi・ネット環境が弱い・つながりにくい、強くしてほしい（5件）
学部棟が24hでない。資料室のWi-Fiがだめだ。
設備(空調・水回り・電源・投影)(7件)
スライドの投影の調子が悪いことが多かった
Wifiよわい。エアコン掃除して。ハウスダストアレルギーできつかった。（再掲）
人文学部棟の冷暖房の設備が十分でないと思う。
全講義室にコンセントが欲しい（各机に）
冬季は水道から冷水しか出ないのがつらかった。
新棟２Fのトイレの手洗いをお湯が出るようにしてほしかった。
資料室にエアコンがなく，夏場は危険であった。
施設の利用・スペース(4件)
土日の利用規則が周知されていない
人文ホール以外の場所にも、自主学習スペースがあると良かった。
学部棟が24hでない。資料室のWi-Fiがだめだ。（再掲）
空き教室を自由に使えると良いと思う。
コース間の差・交流(3件)
各概論以外では他分野コースについて分からなかった。
他コースとの交流が少ない
コースによってサポートの手厚さが違う
教員に関すること(3件)
教授の採はいによる
少人数の授業を増やしてほしい。
ネット環境が整っており，リモート授業を受けたり調べものをしたりするのに十分だった。西洋史は教授からの指導機会が少なかったため，増やしてもらいたい。（再掲）
コース選択・題目の制度(2件)
題目提出はコースごとで良い。
題目変更が容易にできないことが執筆の負担だった。
図書・史資料(2件)
史資料を増やしてほしいと感じた。
本がもっと充実していてくれるとありがたかった

カッコ内の数値は自由記述の回答件数を示している。（回答66件。（再掲）は重複掲載の2回目以降）

進級・学び・研究室での指導等についての感想

質問番号9：コースへの進級や学び、研究室での指導についての感想を自由にお書きください（良かった点，改善が必要な点など）。《自由記述》

●良かった点

手厚い・丁寧な指導（11件）
個々人に対応した指導をしていただきました
親身に指導していただき、非常にありがたかった
きめ細やかだったと思います。
充分に指導をいただきました。
至らない点を指導してもらえてよかった。
先生の指導は厳しかったが様々な学びができた。
先生に何度も確認いただいたので、研究室での指導は適切でした。
担当教員は非常に手厚くサポートしてくださった。
指導はとても丁寧でした。ありがたかったです。
学びや指導において，自身の状況に応じて，対応してくださり，安心することができた。
学生のことを考えて厳しく対処してくれてよかったと思う。
相談・対話・親身さ（10件）
自分の研究したいことができるように相談にのって下さって良かった。
向き合っていただく時間がながく、良かった。
教員や先輩方が親身になって相談にのってくれた。
研究室では、担当教員と進捗をかくにんしつつ行ったのが良かった。
専門以外にも多くの対話があった
関りも多く、楽しかった
みなさん親身になってくださりありがたかったです
進級などについても教授に相談に乗っていただけた。
日常的な会話から専門分野における相談まで親身になって話していただけた。
資料について悩んでいる時に，指導教員が一緒に探してくれて助かりました。
興味・専門に沿った学び（8件）
関心のあった分野について深く学べてよかった。
それぞれの興味にそった学びができたと思う。
とても学びになった。難しい内容であり、苦しんだが、全体的に楽しかった。日本語学が好きです。
多分野について学習でき視野を広げることができた
個人的には深い学びのできる環境に感じたが、一方でグループワークは班員の意識の差が大きく困ったこともあったので、コースごとの学習にかける時間については1年次に案内すべきと感じた。
研究室では、調査など、授業以外の場にも学びがあることで、大学と地域のつながりを感じられ、非常に楽しく学べることが嬉しかったです。
選択コースを超えたさまざまな学びができてよかった。
1年次の学びを経て専門分野を決められるのが良かった。高校までと違い，自分の興味・関心から学習することを決められるため，意欲的に取り組めた。
学生同士の交流・協働（7件）
同じ研究室の人と仲良くしやすい環境ができていた
同じ受講者と質問し合いながら研究できたことが良かった。
かけがえのない仲間と研究をすすめられ、はげみになった。
学生同士の交流が意義のあるものになった
関りも多く、楽しかった（再掲）
他の学生と話し合い，意見交換の場が多く面白かった。
コミュニケーションがたくさん取れてよかった。特にグループワークが学生同士で話し合う機会が多かった。
教員への感謝・満足（6件）
とても感謝している・大変お世話になった（2件）
文情に来てよかったです！XX先生ありがとうございました。
教授によくしていただいた
指導してくれた先生に本当に感謝しています。
教授に恵まれたなと思います。
全体的な満足（5件）
とても良かった・満足している・充実していた（4件）
素晴しい経験ができた
配属の結果・研究室規模（5件）
第一希望の研究室に進め、自分のしたいけんきゅうをすることができた点を良かったと感じている。
進級時にコースのかたよりがかなり見られたことが気になった。研究室配属人数が少なく、手厚いフォローを受けれた。
研究室は人数が多すぎず、ありがたかった
文情に来てよかったです！XX先生ありがとうございました。（再掲）
1年次の学びを経て専門分野を決められるのが良かった。高校までと違い，自分の興味・関心から学習することを決められるため，意欲的に取り組めた。（再掲）
指導の質・フィードバック（3件）
学術論文を執筆する上での倫理観を養うことができる授業・指導だった
研究室の指導では知らない視点からフィードバックをいただけてよかった。
主体的に問題を見つけ、解決できる指導、学びをいただけました。
施設・環境（1件）
研究室の部屋は最高だった。

カッコ内の数値は自由記述の回答件数を示している。（回答68件。（再掲）は重複掲載の2回目以降）

進級・学び・研究室での指導等についての感想

質問番号9：コースへの進級や学び、研究室での指導についての感想を自由にお書きください（良かった点，改善が必要な点など）。《自由記述》

●改善が必要な点

進級・配属時の情報提供・案内（6件）
1年生の頃に、もっと「2年でコースに進級するときの参考になるように、今〇〇〇専門分野のいろいろな授業を受けてみるのが良い」と言うことを伝えたほうが良いと思った。
哲芸→研究室配属の流れがよくわかんない。もっとコンパあってもいい。
個人的には深い学びのできる環境に感じたが、一方でグループワークは班員の意識の差が大きく困ったこともあったので、コースごとの学習にかける時間については1年次に案内すべきと感じた。（再掲）
3年次に上がるときの研究室決定の連絡をもう少し分かりやすくしてほしかった。
進級コース選択前にコースについての情報を得る機会がもっと多いと良いと感じた。
コース振り分けの際に第1～５希望を書くが、第1希望に落ちてから第2希望の面接を受けようとしても人気だと門前払いされる可能性があることなど、もっと詳細なアナウンスが必要だと感じた。
教員との交流・連絡・指導の不足（5件）
西洋史コースでは教員との交流が他より希薄に感じた。
指導がもう少しほしかった
もっと教授と交流する機会があればなおよかった。
先生とのやり取りが増やせると良かった。
Q７について，卒業に関わることであるため，連絡は怠らないでほしかった。日本言語文化コースの資料室？の南京錠の番号をきちんと共有してほしい。
配属プロセス・制度の課題（4件）
進級時にコースのかたよりがかなり見られたことが気になった。研究室配属人数が少なく、手厚いフォローを受けれた。（再掲）
コースの進路選択で、ゆとりがなく、第1の面接後、第2の受け皿がなく、第1に入れてもらったことを憶えています。
哲学コースではゼミ制度がないため、研究室の概念があいまいであったように感じる。
コース振り分けの際に第1～５希望を書くが、第1希望に落ちてから第2希望の面接を受けようとしても人気だと門前払いされる可能性があることなど、もっと詳細なアナウンスが必要だと感じた。（再掲）
学生・コース間の交流不足（1件）
コースとしてはほぼ交流がなく，やや残念だった。
施設・環境（1件）
Q７について，卒業に関わることであるため，連絡は怠らないでほしかった。日本言語文化コースの資料室？の南京錠の番号をきちんと共有してほしい。（再掲）
その他（2件）
学生の受動的な姿勢が足を引っ張ている授業が多かったように思う。そのような部分を一年次に特に取り組ませたほうが良い。共通教育いらん
教授の負担軽減をしたほうが良いと思いました。

カッコ内の数値は自由記述の回答件数を示している。（回答68件。（再掲）は重複掲載の2回目以降）

リモート授業・指導についての感想

質問番号15：あなた自身が体験したリモート授業・指導についての感想を，自由にお書きください（よかった点，改善すべき点など）。　《自由記述》

●良かった点

行動の自由度(20件)
参加しやすい一方。話は入りにくい
自分のペースで進められて良かった（3件）
いつでも・好きな時間に受講できて良かった（4件）
家からでも授業が受けられるのはとても良かったが、対面よりもどうしても気が抜けてしまった。
1限リモートは助かった。
遠くからでも・場所を選ばず受けられて良かった（3件）
オンデマンド、非同期は好きな時間に見られるし、概論は少し興味があるものでも気軽に受講できてよかった。
効率的にできてよかった
eALPSでどこでもレポートの提出等をすることができた点。
時間を効率的に使うことができ良かったが，家から出なくて良いことで乱れが生じることもあった。
家から受けれるのは忙しくなってきたときにも受けやすくてよかったとおもいます。
場所や時間に縛られないオンデマンド型授業は，図書館で調べながらできることができてより深い学びにつながた。通学に２時間かかっていたため，オンライン型授業は移動しながら受けられたので良かった。
オンデマンド型の授業は，時間割を組み立てやすかったため，助かった。
体調・天候・移動の負担軽減(8件)
体調がすぐれない時に家から授業を受けられるのは非常に助かった。
基礎系科目については、リモート授業は通う時間を減らすことができるなど、ありがたく感じる点が多かった。
移動の手間がかからずに受講できたので楽でした。ただ、やはり対面よりもコミュニケーションは取りづらかったです。
家にいてもできたので、天気が悪いなどは特にありがたかったです
体調不良の際に、他の時間で見られたのはとても助かりました。
教室移動がなく，とても便利だと思った。
体調不良でも受けられるのはよいと思った。対面でのコミュニケーションが必要なものはリモートを減らすべき。
通学する時間がなくなる（家出も受けられる）ので，効率的だと思う。ただ，発言のしにくさは多少あるように感じられる。
学習方法や授業に関すること(6件)
対面とそこまで変らなかった。
リモート授業は良いが、授業を受けれる場所が少ないのは改善してほしい。
感染状況に関わらず授業を受けることができる点は良いと感じたが通信環境に左右される部分が大きくその点は常に不安であった。
教員が映す画面が見やすい点が良いと感じた。
家でできるため、リラックスしてできたことと、板書が見やすかった。
資料がしっかりと配布され，満足だった。
科目・授業形式による向き不向き(6件)
概論はリモート授業であったことで多くの概論を受講する負担が減って良かった。
概論のリモートはあっていい（復習などメリットはある）ゼミは発表が大半なので、対面(or同期ズーム）ですべき
概論や特論までなら有用だったように思う
オンデマンド、非同期は好きな時間に見られるし、概論は少し興味があるものでも気軽に受講できてよかった。（再掲）
概論はこれでもいいかも
概論など、学習の基礎となる内容の講義は、繰り返し見られる形式だと取り組みやすいと感じた。演習は対面でやるべきだと思う。
繰り返し視聴・見返しやすさ(4件)
聞き逃したところをもう一回やり直すことができた。
任意のタイミングというのが非常に良かった。また、巻き戻しなどできて学びが深まった。
自分が疑問に思った時、少し戻って見返せたのが良かった。
聞き逃しても巻き戻して理解を深められるのが良かった。
出席に関すること(3件)
手軽にうけられたのでハードルが低かった。
負担が軽くなったと思います。
家でできるため、リラックスしてできたことと、板書が見やすかった。（再掲）
課題・締切り(2件)
毎回期限の短い課題があった方がオンデマンドの動画を溜めずに済んで良かった。
各回、オンライン上での課題があるのがあ良かった。
その他(2件)
特に問題はなかった
回線が安定していた。

カッコ内の数値は自由記述の回答件数を示している。（回答79件。（再掲）は重複掲載の2回目以降）

リモート授業・指導についての感想

質問番号15：あなた自身が体験したリモート授業・指導についての感想を，自由にお書きください（よかった点，改善すべき点など）。　《自由記述》

●改善が必要な点

集中力（10件）
参加しやすい一方。話は入りにくい（再掲）
家で集中できないので結局大学にいた。
実際に教室での講義のほうが集中できると感じるため増やすと良いと思う。
全力で向き合うという点では気が抜けてしまう
家からでも授業が受けられるのはとても良かったが、対面よりもどうしても気が抜けてしまった。（再掲）
集中できなかった
どこでも受けられる点が良かったが，それゆえに気を抜くことが多くなってしまった。
リモートはサボってしまう。
先生たちの指導はよかったけれど，対面よりは集中できていなかったように思える。
時間を効率的に使うことができ良かったが，家から出なくて良いことで乱れが生じることもあった。（再掲）
ネット接続に関すること（9件）
同期型はカメラオンでは（多人数なほど）重くなるが,オフならオンデマンドで良いと思った。
不具合で講義の時間が削られるともったいないと思う
自宅のネット環境によって参加できなかったことがあり、結局大学に行って受けていました。
大学内のインターネット環境が悪い場合に、授業をうけられないことがあり、意欲低下につながったように思う。オンデマンド授業で先生がアップし忘れていることもあった。
少し受けにくかった。伝播に左右されるのが辛かった。
音の設定が最後まで上手くできておらず、十分な講義を受けられなかったことがあった。
音声の途切れが少し困るところではあった。
感染状況に関わらず授業を受けることができる点は良いと感じたが通信環境に左右される部分が大きくその点は常に不安であった。（再掲）
大学内はネットワークが不安定で、授業内でのテストに支障をきたすことが多かったので、改善すべきだと思いました。
コミュニケーションに関すること（8件）
移動の手間がかからずに受講できたので楽でした。ただ、やはり対面よりもコミュニケーションは取りづらかったです。（再掲）
チーム作業で連携がとりにくかった。
同期型オンラインの場合、私はイヤホンが使えないため、授業を受ける場所に困ることがありました。音出しOK（イヤホンなし）の場所があると有難いです。
自動字幕機能があるとさらに良いと感じた。
オンライン授業では教員・学生ともにリアクションがしづらいため，その点を考慮すべき。
体調不良でも受けられるのはよいと思った。対面でのコミュニケーションが必要なものはリモートを減らすべき。（再掲）
質問や発言しづらかった
通学する時間がなくなる（家出も受けられる）ので，効率的だと思う。ただ，発言のしにくさは多少あるように感じられる。（再掲）
授業のやり方に関すること（5件）
同期型はカメラオンでは（多人数なほど）重くなるが,オフならオンデマンドで良いと思った。（再掲）
タイムラグとかネットの問題を考慮して余裕もって時間つかってほしい。ラグでテストが受けられないなどが何度もある。
リモート授業は良いが、授業を受ける場所が少ないのは改善してほしい。（再掲）
大学内のインターネット環境が悪い場合に、授業をうけられないことがあり、意欲低下につながったように思う。オンデマンド授業で先生がアップし忘れていることもあった。（再掲）
先生によって指導の厳しさが違ったと思う（出席等）。
対面希望・リモートが合わない（5件）
あまりメリットは感じなかった
やはり”双方向性”には欠けていたように感じる。学生のリアクションが反映されづらい。
やっぱり対面が良い。
自分の生活スタイルには合わなかった
対面のほうが自分にあっており，もっと対面の授業が増えると嬉しかった。
課題・締切り（3件）
課題の提出時間が短い
オンデマンドに細かな締め切りは要らない（先生方の事情は一切考慮していない意見です。）
オンデマンドの期日が分かりづらいものもあり難しかった。

カッコ内の数値は自由記述の回答件数を示している。（回答79件。（再掲）は重複掲載の2回目以降）

人文学部のICT環境についての意見

質問番号17：人文学部のICT環境（Wi-Fiなどのインターネット環境を含む）について，良かった点・改善してほしい点など，ご意見があればお聞かせください。　《自由記述》

●意見

つながりにくい・弱い（場所などの限定なし）（28件）
つながりにくくwifiを切ったほうがいいときが多かった。
Wi-Fiが弱い・つながらない・接続しづらい（改善してほしい）（8件）
Wi-Fiがつながりにくい（ことがある）（4件）
もう少し強く・つながりやすく・快適に接続できるようにしてほしい（6件）
インターネットが必須であるにもかかわらず、つながらないことが多々あり、授業内に出さないといけない課題を授業中に出せないこともあった。
つながりにくい・つながりが悪い（5件）
弱すぎる。行くのがおっくうになるくらい遅い。
接続が弱い時があったが、ほとんど不自由することはなかった
wi-fiがあまりにも弱い，接続がすぐ切れる，wi-fiがつながらないためデータ通信にしても電波が弱い。
場所・教室による差（16件）
場所・教室・部屋によってつながらない（5件）
第4講義室でつながりにくい（2件）
人文棟・新棟のWi-Fiが弱い・つながりにくい（3件）
階によってWi-Fiが弱い・つながらない（3件）
研究室だと度々切れてしまっていた。
インターネット環境は，問題なく使えていたため良かったと思う。講義等以外の学校でもwi-fiにつなげられたらどこでも作業できるため，利便性が高くなると思う。
すぐにwi-fiが切れたり，動作が遅かったりした。特に人文ホールはwi-fiも電波も弱く，課題を進める際に不便だと感じることが多かった。
切断・不安定（11件）
時々（たまに・たびたび）つながらない（3件）
やや回線の不安定な教室もあったので、全体的に通信環境の改善がなされると良いと思う
すぐ・よく接続が切れて困った（2件）
上にも書きましたが、全くつながらないことや、不安定でZOOMから退出することなどが何度もあったので、オンライン授業を今後も続けるのならネット環境はもっと整えてほしいです。
回線がダウンする・通信が不安定（2件）
wi-fi接続できるときとできないときがあって不便なので安定して使えるようにしてほしい
すぐにwi-fiが切れたり，動作が遅かったりした。特に人文ホールはwi-fiも電波も弱く，課題を進める際に不便だと感じることが多かった。（再掲）
多人数の授業での混雑（7件）
人数の多い授業・大教室でつながりにくい（4件）
受講生の多い授業は特に接続が切れやすく困った。出席確認のできるQRコードもネット回線が弱いとつながらず困ったので、改善すべきと思う。
教室・実習室で使う分には問題ないが、概論などの大教室ではつながりにくかった
部屋によって繋がらない，受講人数が多くて繋がらないのに時間内に小テストのある授業があるなどしたので，改善してほしいです。
出席確認（QR・スマホ）・ログイン（6件）
出席確認（QR・読み取り）が遅い・戸惑った（2件）
受講生の多い授業は特に接続が切れやすく困った。出席確認のできるQRコードもネット回線が弱いとつながらず困ったので、改善すべきと思う。（再掲）
つながらないのは百歩ゆずって良いとして、出席をスマホで取り出したのは本当に意味が解らない。人文の責任じゃないけど。たぶん。
ログインが面倒
QRでつながるようになればよいと思った。
速度の遅さ（4件）
オンライン授業に対応するほど速くない。
重い・遅い（3件）
学内サービス・設備・施設の利用（4件）
回線は早かった。不満はない。願わくば、就活のめんせつ（ズーム）で部屋を使いたかった。
ICTではないですが、人文棟のコピー機がなくなったことは、少し困ることもありました。ワイファイには特に問題なかったと思います。
ジャパンナレッジへの接続可能な人数を増やしてほしい
ネットワークのLANを増やしてもらえるとありがたいです。
接続方法・案内（2件）
教室ごとにつなぎ直す必要があったこと。
どのWi-Fiにつなげていいのか迷った（名称を分かりやすくしてほしい）
つながりやすい・満足（良かった点）（8件）
回線は早かった。不満はない。願わくば、就活のめんせつ（ズーム）で部屋を使いたかった。（再掲）
つながりやすく、接続が簡単で使いやすかった。
無料で使える点が良かった。
ICTではないですが、人文棟のコピー機がなくなったことは、少し困ることもありました。ワイファイには特に問題なかったと思います。（再掲）
つながりがよくて助かった・満足している（2件）
教室・実習室で使う分には問題ないが、概論などの大教室ではつながりにくかった（再掲）
インターネット環境は，問題なく使えていたため良かったと思う。講義等以外の学校でもwi-fiにつなげられたらどこでも作業できるため，利便性が高くなると思う。（再掲）

カッコ内の数値は自由記述の回答件数を示している。（回答80件。（再掲）は重複掲載の2回目以降）